

2026年3月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2026/3/7 (土) 10:00~16:00

2. 開催場所 中品協

3. 会員参加者<敬称略> S:オンサイト出席・L:オンライン出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|----|---|----|---|----|---|-------|---|----|---|----|---|----|---|
| 大見 | 欠 | 牧野 | S | 横尾 | S | 城越 | S | 伊藤 | S | 舟山 | 欠 | 出島 | S | 水田 | 書 |
| 山口(展) | S | 黒田 | S | 鈴木 | L | 池田 | S | 山口(直) | S | 前田 | S | 木村 | S | 藤井 | S |
| 北村専務 | S | | | | | | | | | | | | | | |
| 河合 | 休 | 杉浦 | 休 | 福田 | 休 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

4. 研究会内容

1) 「RQES提出論文検討」(城越)

RQESに提出する論文の確認をした。
内容(表題とアブストラクト)
十分でないサンプリングで特徴量を抽出するデータ処理の試み
Data Processing Approach for Feature Extraction under Insufficient Sampling
おおむね問題ないが、当日想定される質問を検討した。
Q 時間的に変化していく周期データは、この手法は使えないとしてよいか?
A よい。手法ごとに適性があり、FFTでも、同じことがいえる。短時間の窓に区切った解析、またはウェーブレット変換のような派生?手法が提案されている。
厳密には波の形は時間とともに変化しているので、周波数スペクトルの間に「ゴースト」が現れる。周波数解析の理屈を理解していないと、これらの結果から考察する際に誤るので注意が必要。

2) 「田口玄一博士 「実験計画法と品質工学」のAIによるスライド資料化、内容を検討」(山口直)

田口玄一博士の論文「実験計画法と品質工学」のAIによるスライド資料化、内容を検討
「実験計画法と品質工学」をNotebookLMを使ってスライド化した。
議題: 輪講資料(スライド)の活用と今後の運用について
●主な発言・意見:
・資料の有用性について
現在の構成であれば、メンバー間の輪講用資料として十分に活用可能である。
視覚的な要素(絵・図解)については、説明の補助として有効である。
・初学者への展開における課題
品質工学の基礎知識がない初学者にとっては、専門用語の真意を正しく理解するのが難しく、ハードルが高いのではないかという懸念がある。
初学者向けに本スライドを用いて説明を行う場合は、品質工学に精通した者が内容を深く理解した上で、適宜補足説明を加える必要がある。
・情報の質とレベルについて
参考とする情報ソース(文献やデータ)によって資料のレベルが左右されるため、ソースの選定には注意が必要である。

3) RQES2026発表: 紙コプターチーム

現行の水準(すべて水準2)と最適水準のパラメータの機体を作成し、確認実験を実施した。
結果としてSN比の利得は推定値18.6dbから28.9dbとなり約55%と大幅に増加した。
感度の利得は推定値0.8から0.2となり25%減で±30%以内に収まる良好な結果となった。
実験前は推定値の利得がかなり高く再現はしないだろうと考えていたが予想外の結果となった。
考えられる原因としては紙コプターの各種サイズや羽根の形状など、予備実験の段階で様々な工夫を施したのが今回の結果に結びついたものと思われる。

4) RQES2026発表資料検討: コマチーム

RQES2026発表資料について、チーム内で協議した。主な内容としては、入出力とP-ダイアグラムについて。
今回は特性値が静特性であるので、それに応じた内容に修正する。また予稿集に関しては、舟山さんの都合により、後日、紙コプターチームとも連携して仕上げていくとする。

5) 事務局連絡

- ・会員関連：鈴木さん、藤井さん、・・・退会、池田さん、・・・休会
会員減少&高齢化による会存続の危機感あり！
新規会員の入会活動-各自:入会前提の見学の縛りを外し、ハードルを下げて見学しやすいようにする。
会員増加のための見学者勧誘は、すぐできることとして、見学=入会の縛りを無くす
交通費の補助や中品協の講習会の活用等を今後検討要（平日開催も試みたことがあったが会場確保の問題で断念）。
- ・事例・テーマ相談の活性化（継続）
武蔵山口さん、初めてのパラメータ設計
黒田さん、品質工学初学者向け教育資料の紹介
- ・対外関係
合同研究会 2026.05/15 発表決める
品質工学シンポジウム 2026.10/02 発表決める
業務改善事例発表大会 2026.10/21 発表決める
品質工学会の代議員推薦のための「推薦委員」を合田さんが代行してくれ、大見さん、山口直さんが選出された。
選挙はこれから。
- ・教材検討
紙コプター（確認実験結果を舟山さんがまとめる）
コマ（木村さんが発表資料作成中）